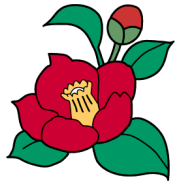


そとうがく

(No. 42)

24.12.18 発行
現職研修委員会
総合的な学習部編集



研究・研修報告

校全体でESDカレンダーを作成するときの要となる学びは、総合的な学習の時間です。今こそ総合的な学習の時間の果たす役割は大きく、さらなる研究や実践の積み重ねが期待されます。

未来をつくる子どもの力

総合的な学習部長

金指 由香里

「私たちの城南小学校は、城南CITYカーニバルという素晴らしい活動を行っています。城南CITYは、私たちが目指す理想の未来社会です。城南CITYを作り上げるために、これまで学区の自然環境・社会環境・歴史・防災等を追究してきました。ユネスコス쿨の活動としても、これから持続可能な社会の一員となるよう毎日頑張っていることを誓います。」

これは十一月末に、ユネスコス쿨プレート除幕式で、代表委員が述べた誓いの言葉の一部です。今年二月、パリのユネスコ本部に送ったユネスコス쿨の申請書。それから半年、待ちに待ったユネスコス쿨の認定証が届きました。本校の最大の行事である「城南CITYカーニバル」のオープニングに合わせて、除幕式を行いました。一年前までは、ユネスコス쿨もESDという言葉もほとんど知らなかった子どもたちでしたが、自分たちのこれまでの活動が、ユネスコス쿨として認められたことを、たいへん誇りに感じました。その後行われた「城南CITYカーニバル」の大成功に結びついたことは言うまでもありません。「子どもが持つ夢の町」城南CITYには、市役所・ハローワーク・銀行・警察・放送局等があり、子どもたちは「はたらく店」で働き、校内通貨ジョナを獲得します。それを使って「あそぶ店」でいろいろな体験ができるのです。働くことの意義や楽しさを感じ、友だちと協力して店を運営する喜びや難しさを体感

します。「城南CITY」には、子どもの夢とエネルギーと笑顔が溢れています。エンディングでは「未来につながる私たちのアドバンス（前進）」をテーマに、子どもたちが活動を振り返り、夢や思いを語りました。

「私は『まるわかりシアター』で、学区の占部川を自慢の川にするために、調べたことや実践したことプレゼンを発表しました。おうちの人や学区の人からも、感想やアドバイスをたくさんもらって嬉しかったです。大好きな城南の学区が、もともととても素敵な町になるように、私にできることを考えて、いろいろなことに挑戦していきたいです。」

未来に生きる子どもたちに必要な、批判的な思考力、未来を予測し計画する力等ESDの七つの能力や態度が育つ場面を、年間計画の中に取り入れて進めてきました。それが単なる「お店こっこ」に終わらない実践となりました。ここでESDの視点に立った教科領域の学習をつなぎ、次への推進力となったのは「けやき学習」(総合的な学習の時間)でした。先日の新香山中学校の研究発表会では「ESDの一〇年世界会合に向けて教育現場からの提言」についてシンポジウムが行われました。「ESDとは、子どもが『私には未来を作り、変える力がある』という自己肯定感を育てる教育である」という言葉が、大変印象的でした。子どもたちが生きていく未来には、地球規模の環境問題、エネルギー問題、国際紛争、人種問題、食糧危機等の解決しなければならぬことが山積しています。子どもたちは、ここに果敢に立ち向かっていかなければなりません。

ESDは、未来をつくる子どもの力を育てる教育です。学

〇授業力・教師力アップセミナー(基礎編)

八月二日(木)岡崎市総合学習センターにおいて、授業力・教師力アップセミナーの基礎編が開催されました。まず、梅園小学校の村松香保里先生と形埜小学校の稲村美穂先生から、昨年度の市教育論文優秀賞の実践を報告していただきました。子供たちの言葉をこまめに拾い、次の展開につなげていく、お二人の先生の対応力と行動力に、参加された先生方は大いに感心されていました。次に、各学年に分かれて、総合学習の現状と課題についてのワークセッションを行いました。その中では、同じ学年だからこそ分かる悩みや困難を共有し、相談することができ、自分の実践を振り返るきっかけとなりました。最後に、愛知教育大学講師の生島亜樹子先生から「総合的な学習の時間の授業づくり」という演題で講演をいただきました。岐阜県高山市朝日学区の事例をもとに、地域の大人も巻き込みながら、地域の人々とふれ合い、探究的な活動を繰り返していくことで、自分の考えをもてるようにすることの大切さを教えていただきました。

〇三河教育研究会 夏季研修会

八月三日(金)に、甲山会館・市民会館において、三河教育の夏季研修会が開催されました。岡崎からは、大樹寺小学校の加藤良彦先生が『地球の一員としての自覚を深め、自らの考えを発信する』中3修学旅行での体験活動を通じた展開例の研究を報告されました。会場からは実践に対する熱心な質問が出され、関心の高さと岡崎の教育の確かさを実感することができました。

◆三教研夏季研修会報告

大樹寺小学校 加藤良彦
第五分科会では、田原の先生による「子どもたちの心が動く総合的な学習」中学二年「渥美PR大作戦」を通しての実践報告があり、続いて大樹寺小・加藤が実践を報告させていただきました。

田原の発表は、渥美地域の発展について否定的に考える生徒たちに対して、名産品調べや名古屋での街頭調査などの活動を通して、地域への愛着を深め、主体的に地域振興に取り組んでいくというものでした。生徒が名産品を試作し、お店の方に評価してもらおう中で、新たな課題が生まれ、展開の方向性が変化していく、まさに教科書のない総合だからこそ醍醐味を感じ取ることができました。

大樹寺小・加藤は、昨年度の甲山中で
の岡崎市環境学習プログラムを震災と
絡めながら、これからのエネルギー問題
について追究した実践を報告させてい
ただきました。



講演会では、鳴門教育大学教授・西村公孝先生が、「持続可能な社会を形成していく子どもたちのための総合的な学習」の演題で、ESD教育とキャリア教育の可能性について講演されました。私自身としては、今日的な教育課題として「持続可能な社会」の形成が重視されるのかという部分のお話が大変興味深く、参考になりました。そして、総合的な学習での体感・体験的な学習が、子どもたちのこれからどう生きていくのかが、私の中で少しずつではありますが、見直しをもつことができたように感じました。今後は子どもたちに身に付けさせたい力を強く意識しながら、実践を進めていきたいと考えています。

○平成二十四年度岡崎市教育研究大会

九月四日（火）シビックセンター体育集会室において、岡崎市教育研究大会総合的な学習分科会が開催されました。本年度は、昨年度の十八本を超える二十本ものレポート提出がされ、環境学習プログラムの発展事例や、各校の特色を生か

し、地域教材などを取り入れた授業実践に対して熱心な討論が行われました。

助言者の鳴門教育大学教授 西村公孝先生からは、環境学習プログラムに対する多大なる評価と、これからの発展のために、高齢化社会や国際問題に関わってくる福祉や国際理解の分野への実践も大切にしていきたいと、ご指導いただくことができました。その結果、矢作南小学校の柴田多津彦先生と大樹寺小学校の加藤咲子先生が県教研総合学習分科会の正会員に選ばれました。また、梅園小学校の柵木弓先生が環境問題と教育分科会の正会員に、美合小学校の山本典弘先生が能力・発達・学習と評価分科会の正会員に選ばれ、四名の先生が岡崎代表として十月に行われた県教研に参加されました。



◆第六十二次 教育研究愛知県集報告

矢作南小学校 柴田多津彦

十月二十日（土）に愛知県産業労働センターで行われた「第六十二次教育研究愛知研修会」の総合学習分科会に参加してきました。

レポートでは、子どもの実態や学校の特色、地域の実情などから創造的な教育課程を自主編成した実践が多く報告されていました。また、地域の自然や人とかかわり方に着目し、関係を深めながら、目指す子ども像に迫るような実践も多く報告されていました。

討論では、子どもの思いを大切にしながら、子どもの学びを深めたり、自己の生き方に対する考えを高めたりする学習活動の工夫や、総合学習の質を高める「生きる力」のとらえ方と、価値ある教育課程編成のあり方や学習展開の工夫について、熱心に意見が交わられました。そして、次のような五点が確認されました。①個の学びを高める学習活動を工夫すること、②教科との関連や他学年との系統性をふまえたカリキュラムのあり方を確立すること、③子どもの問題意識を高める課題づくりを工夫すること、④地域素材の活用や地域の人々との交流を活かした学習活動を工夫すること、⑤子ども

の主体的な学びを生み出す学習展開を工夫すること、です。子どもたちが様々な体験を通して、自己の成長に対する意識を高めたり、学びを深めたりできるように、夢と希望あふれる教育の創造に努力していかなければならないという思いを、あらためて強くする機会となりました。

実践記録のご紹介

☆ 第八回岡崎総合的な学習研究会・生活科道場

今年度を締めくくる第八回の岡崎研が開催されます。今回の講師には、日頃からお世話になっていきます愛知教育大学・久野弘幸先生、名古屋学芸大学・三浦浩子先生に加え、全国の生活・総合をリードしてみえた文教大学教授・嶋野道弘先生をお迎えします。子どもを主人公に地域に根ざした豊かな教育実践に学ぶとともに自分の実践をふり返る大変よい場となっております。ぜひ、ご参加ください。

【期日】平成二十四年二月二十三日（土）～二十四日（日）

【会場】愛知県野外教育センター（岡崎市千代町）

【内容】・実践提案検討会

・懇談会

・千代町巴山から富士山・南アルプスの山脈を眺望

☆ 総合的な学習の時間 実践記録集・指導案集

総合的な実践記録集が本年度もホームページに掲載されます。掲載場所は、

<http://cms.oklab.ed.jp/sougou/>

のトップページから、左側のメニュー中「実践記録集」をクリックして、希望の年度をご覧ください。

また、本年度指導員訪問が行われた学校については指導案がまとめて収集してあります。ご覧になりたい場合は梅園小・柵木まで御連絡ください。他の実践を参考に、子どもたちにとってよりよい実践研究を進めていきましょう。